

# 安全データシート

(Safety Data Sheet)

作成 1993年9月1日

改訂 2019年10月1日

## 1. 製品名及び会社情報

製品名	シールピール コールドタイプ #6009
推奨用途	防毀損
供給者の会社名称	関東化学工業株式会社
担当部署	営業部
電話番号	03-3211-1861
FAX番号	03-3211-1865
整理番号	SC_004J

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理科学的危険性	引火性液体	区分 2
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2B
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性	区分 1A
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 3(気道刺激性・麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分 1
		区分 2

(注) 記載なき GHS 分類区分: 該当しない/分類できない

GHSラベル要素  
絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

眼刺激

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

**【応急処置】**

- 火災の場合：指定された消火剤を使用すること。
- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

**【貯蔵】**

- 容器を密閉して換気の良い所で保管すること。
- 涼しいところに置くこと。
- 施錠して保管すること。

**【廃棄】**

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
- 特定の物理的及び化学的危険性
- 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

**3. 組成及び成分情報**

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：ブチラール樹脂混合溶液

成分	2-ヒドロキシ-4-オクチル オキシベンゾフェノン	エタノール	水
含有量%	< 1	70 - 80	< 1
化学式	C21H26O3	C2H5OH	
官報公示整理番号	2-202	2-202	
CAS No.	1843-05-6	64-17-5	7732-18-5

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

**危険有害成分**

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

エタノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

エタノール

#### **4. 応急処置**

##### **【吸入した場合】**

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。

##### **【皮膚(又は髪)に付着した場合】**

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

##### **【目に入った場合】**

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

##### **【飲み込んだ場合】**

直ちに吐き出させ、水で口の中をよく洗浄した後、医師の診察を受ける。  
意識のない場合は絶対に吐かせてはならない。

#### **5. 火災時の処置**

##### **【消火剤】**

火災の場合は耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。  
噴流水を消火に用いてはならない。

##### **【特有の危険有害性】**

加熱すると容器が爆発するおそれがある。  
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

##### **【消火を行う者への勧告】**

消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。  
関係者以外は安全な場所に退去させる。  
霧状水により容器を冷却する。

##### **【消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置】**

防火服又は防災服を着用すること。  
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

## **6. 漏出時の措置**

### **【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】**

関係者以外は近づけない。

風下で作業をしない。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

### **【環境に対する注意事項】**

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

### **【封じ込め及び浄化の方法及び機材】**

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

### **【二次災害の防止策】**

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## **7. 取扱い及び保管上の注意**

### **【技術的対策】**

(取扱者のばく露防止)

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

### **【安全取扱注意事項】**

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

### **【接触回避】**

強酸化性物質との接触を避けること。

## 【衛生対策】

- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 取扱い後はよく手を洗う。

## 【保管】

### （安全な保管条件）

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
- 施錠して保管すること。

### （避けるべき保管条件）

- 高温と着火源(裸火、火花など)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

## 8. 暴露防止措置

### 管理指標

管理濃度データなし

### 許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

（エタノール）

ACGIH(2008) STEL: 1000ppm (上気道刺激)

### 設備対策

- 室内作業場で使用する場合、発生源の密閉又は局所換気装置を設置する事。
- 取扱所の近くに洗眼設備・シャワー・手洗い・洗顔設備を設け、その場所を明瞭に表示する。

### 保護具

- 呼吸保護具： 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
- 保護眼鏡： 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
- 保護手袋： 耐溶剤性(不浸透性)手袋 推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム
- 保護具： 保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体	色:	無色、透明
臭い:	アルコール臭	沸点又は初留点:	77.3°C
Ph:	適用外	融点/凝固点:	データなし
分解温度:	データなし	引火点:	13°C
可燃性(ガス、液体及び固体):	引火性	自然発火点:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし	蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし	相対ガス密度 (空気=1):	データなし
密度及び/又は相対密度:	データなし	動粘度	データなし
溶解度:		動粘性率:	データなし
水に対する溶解度:	不溶	溶媒に対する溶解度:	データなし
n-オクタノール/水分配係数:	データなし	粒子特性:	適用外

## 10. 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性:	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性:	蒸気は引火して爆発するおそれがある。
避けるべき条件:	高温と着火源(裸火、火花など)を避けること。
混触危険物質:	強酸化性物質
危険有害な分解生成物:	データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性	データなし
局所効果	
皮膚腐食性/刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	[日本公表根拠データ] (エタノール) ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998 et al)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	[日本公表根拠データ] (エタノール) cat. 1A; (ACGIH 7th, 2012; IARC, 2010) (エタノール) IARC-Gr.1 : ヒトに対して発がん性がある (エタノール) ACGIH-A3(2008) : 確認された動物発がん性因子である が、ヒトとの関連は不明
生殖毒性	[日本公表根拠データ] (エタノール) cat. 1A; human : PATTY 6th, 2012
催奇形性	
特定標的臓器毒性	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	[区分3(気道刺激性)] [日本公表根拠データ] (エタノール) 気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
	[区分3(麻酔作用)] [日本公表根拠データ] (エタノール) 麻酔作用 (PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	[区分1] [日本公表根拠データ] (エタノール) 肝臓 (DFGOT vol.12, 1999)
	[区分2] [日本公表根拠データ] (エタノール) 中枢神経系 (HSDB, Access on Jun. 2013)
誤えん有害性	データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性	
水生環境有害性 短期(急性)	[日本公表根拠データ]
成分データ	(エタノール)
	藻類 (クロレラ) EC50=1000mg/L/96hr (SIDS, 2005)
水生環境有害性 長期(慢性)	[日本公表根拠データ]
成分データ	(エタノール)
	甲殻類 (ニセネコゼミジンコ属) NOEC=9.6mg/L/10days (SIDS, 2005)
水溶解度	(トルエン)
	溶けない (ICSC, 2002)
	(鉱油)
	溶けない (ICSC, 2006)
	(2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール)
	0.00006 g/100 ml (25°C) (ICSC, 1999)
水溶解度	(エタノール)
	混和する (ICSC, 2000)
残留性・分解性	(エタノール)
	急速分解性あり (BODによる分解度: 89% (既存点検, 1993))
生体蓄積性	(エタノール)
	log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)
土壤中の移動性	
土壤中の移動性	データなし
他の有害影響	
オゾン層への有害性	データなし

## 13. 廃棄上の注意

### 【廃棄物の処理方法】

- 環境への放出を避けること。
- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
- 承認された廃棄物集積場で処理する。
- 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

### 【汚染容器及び包装】

- 容器は有害廃棄物として処理する。
- 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

#### 14. 輸送上の注意

- ・運搬に際しては容器に漏れのない事を確かめ、転倒・落下・損傷を生じることがないように注意して積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・混載禁止物質との混載は避けるなど、消防法、その他法令の危険物に関する定めに従い適切に輸送する。
- ・消防法による危険物 第四類 アルコール類であるので、第一類の危険物及び第六類の危険物との混載は禁止されている。

国連番号、国連分類	国連番号	1170	
	正式輸送名	エタノール又はエタノール溶液	
	分類または区分	3	
	容器等級	II	
	指針番号	127	
	特別規定番号	144	
	IMDG Code (国際海上危険物規程)	国連番号	1170
	正式輸送名	エタノール又はエタノール溶液	
	分類または区分	3	
	容器等級	II	
	特別規定番号	144	
IATA 航空危険物規則書	国連番号	1170	
	正式輸送名	エタノール又はエタノール溶液	
	分類または区分	3	
	危険性ラベル	Flamm. liquid	
	容器等級	II	
	特別規定番号	A3; A58; A180	

#### 【 環境有害性 】

MARPOL 条約附属書 III	海洋汚染物質	非該当	
個品有害物質による汚染防止	(該当/非該当)		
MARPOL 条約附属書 V	発がん性	区分 1, 1A, 1B	該当物質: エタノール
廃物排出による汚染防止	特定標的臓器毒性, 反復ばく露	区分 1	該当物質: エタノール

#### 【 バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II 】

改訂有害液体物質及びIBCコード	有害液体物質(Z類)	エタノール
------------------	------------	-------

#### 【 国内規制がある場合の規制情報 】

船舶安全法	引火性液体類	分類3
航空法	引火性液体	分類3

## 15. 適用法令

・当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令 毒物及び劇物取締法に該当しない。

消防法:	第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)
労働安全衛生法:	特化則に該当しない製品 有機溶剤等に該当しない製品 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 名称表示危険/有害物 エタノール(別表第9の61) 名称通知危険/有害物 エタノール(別表第9の61) 別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)
化学物質管理促進 (PRTR)法	該当しない。
化審法:	該当しない。
水質汚濁防止法	指定物質 2-ヒドロキシ-4-オクチルオキシベンゾフェノン 法令番号 55

## 16. その他の情報

参考文献 経済産業省 GHS支援ツール類 GHS混合物分類判定システム(Ver.4.0)(2019年3月現在)  
各種材料MSDS

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN  
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)  
IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)  
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)  
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253 : 2019  
JIS Z 7252 : 2019  
2018 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information  
GESTIS-Stoffdatenbank  
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成29年度)です。